

様式第 2 号（第 9 条関係）

会議録

会議の名称		令和 6 年度第 1 回ふじみ野市文化振興審議会				
開催日時		令和 6 年 5 月 1 3 日（月） 開会時刻 午後 6 時 0 0 分 閉会時刻 午後 8 時 0 0 分				
開催場所		ふじみ野市役所本庁舎 A 大会議室				
出席した者の氏名		役職名	氏名		役職名	氏名
		会長	伊藤裕夫		委員	小林浩
		副会長	進藤美奈子		委員	尾澤景子
		委員	大井田かおり		委員	鈴木長恵
		委員	遠山菜穂美		委員	田中義則
		委員	古田土勝市		委員	中村美宏
会議の議題		第 1 部 委嘱式 第 2 部 会議 (1) 令和 6 年度文化振興審議会年間開催予定について (2) 令和 6 年度文化芸術活動未来応援事業の承認について (3) 令和 6 年度文化芸術企画提案型委託事業の報告について (4) その他				
会議の公開又は非公開の別		公開				
会議の非公開の理由						
傍聴人の数		0 人				
会議の内容		別紙のとおり				
会議資料		別添のとおり				
事務局		市民活動推進部 文化・スポーツ振興課				
説明員		ふじみ野市立文化施設指定管理者日本環境マネジメント株式会社 宮澤大輔、小川香				
議事の確定	確定年月日	令和 6 年 5 月 日				
	記名押印 又は署名	役職名 会長 伊藤 裕夫 ㊟				

(会議の経過)

発 言 者	議 題 ・ 発言内容 ・ 決定事項
事務局	第 1 部 委嘱式 ・ 市長より委嘱状の交付 ・ 会長・副会長の選出 会長：伊藤裕夫委員選出 副会長：進藤美奈子委員選出 ・ 会長挨拶
事務局	第 2 部 会議 ・ 開会 (議事 1) 資料に基づき説明
伊藤会長	本年度は 4 回開催となる。質問はあるか。 <質疑なし>
事務局	(議事 2) 資料に基づき説明
伊藤会長	文化芸術活動未来応援事業は、文化振興審議会で事業を承認するものである。本年度の申請事業について、意見や要望、実施に当たってのアドバイスはあるか。
古田土委員	アニメ音楽やポップス曲を弦楽器などで演奏する場合、作曲者の承認を得ずに勝手に編曲してしまうことがある。本事業においては、こうしたことが無いよう事務局が注意して実施してほしい。
事務局	分かりました。
伊藤会長	例年 10 件以上の応募があったが、本年度は 3 件しか応募がない。募集要項を見直したことがマイナスに出たのか、今後改良していく必要があると考えるが、その点について意見はあるか。

発 言 者	議 題 ・ 発言内容 ・ 決定事項
進藤委員	県や国の補助金等への申請書類と比較しても、市の申請様式は入力が大変だと感じる。文化芸術活動未来応援事業がアマチュアや学生を対象にしているのであれば、申請様式も難しくない方が良い。提出書類も、申請時点ではなく採択後に提出するとして良いものもあるのではないかな。
伊藤会長	採択件数の3倍程度の応募は欲しい。切磋琢磨することで申請者も工夫を凝らし、より素晴らしい企画が集まることにつながると考える。今後募集方法を見直すことを前提に、本年度の事業については承認ということによろしいかな。 ＜一同、異議なし＞
事務局	なぜ申請が少なかったかなどを振り返り、新たな方策を検討する。
事務局	(議事3) 資料に基づき説明
伊藤会長	ステラ・ウェストホール活用プロジェクトのプロポーザル審査に、私も審査員として参加した。不採択となった事業も非常に意欲的で面白いものだったが、委託事業としての採択には至らなかった。企画提案型委託事業は市からの報告事項になるが、何か質問や意見はあるかな。
古田土委員	小学生向けのワークショップで刃物を使用するものもあるが、安全への配慮や、けがをした場合の対処はどのようなになっているのかな。
事務局	委託事業については市の保険が適用される。安全にワークショップが実施されるよう、市としては適切に講師や補助スタッフが配置されているか十分な確認を行う。
古田土委員	アートに触れようプロジェクト「カメラを手作りしてみよう！」は実際に撮影できるカメラを作るのかな。
事務局	カメラの原型となった「カメラ・オブスクラ」を作り、スクリ

発 言 者	議 題 ・ 発言内容 ・ 決定事項
	ーンに投影する。実際に撮影はできない。
進藤副会長	チラシなどで参加者に誤解を与えないよう、注意してほしい。
事務局	分かりました。
伊藤会長	アートに触れようプロジェクトの「ドキドキワクワク実験&料理教室 with 小学生【おにぎりと味噌玉を作ろう！】」と「ドキドキワクワク実験&料理教室 with 小学生【自由研究：紫キャベツでカメレオン焼きそば！？】」は、同日の午前と午後で開催され、本来1つの企画を2つに分けて申請している。
小林委員	ふじみ野市文化協会理事長として、企画提案型委託事業の文化協会枠についてお話ししたい。前年度の文化振興審議会における議論を経て、文化協会ならではのさまざまな団体が協働した事業を実施できるのであればと枠をいただいた。 協会発足から2年度目となる本年度は、活動をさらに活発化させるため、ジャンルの広い「文化」を4つの部会に分けて活動している。今回の委託事業では、特にパフォーマンスや身体表現、伝統文化を中心に企画した。伝統文化や民俗芸能の団体が1団体でホール事業を行うことは難しい。また、身体表現、特にダンスは子どもからの関心が非常に高く、アートフェスタふじみ野2023でも非常に多くの子どもたちが参加し、世代を超えてコラボレーションすることができた。 協会の事業として、市内の民俗芸能の調査及び報告についての展示やワークショップの準備を進めている。この調査において新河岸川の舟運業が盛んだった時代の舟歌や、戦前に盛んだった養蚕の機織り歌などが残っていることが分かっている。企画提案委託事業のひとつとして、こうした内容を盛り込みながら企画を実行したいと思っており、補足させていただく。
事務局	令和6年度は採択回数の上限を連続3回から通算3回にするなど、新たな提案をいただくため募集の要件を見直した。より多くの申請をいただくことも重要であるため、来年度以降、申請要件を再検討すると共に、複数回の申請については可とした上で、採点によって差をつける方法もあると考えている。

発 言 者	議 題 ・ 発言内容 ・ 決定事項
伊藤会長	本年度の結果を踏まえ、募集件数や質の良い提案を増やすなど事業の改善に向けて、本審議会でも議論したい。
伊藤会長	（議事４） 議事４その他について、何かあるか。
説明員	資料に基づきふじみ野市立文化施設指定管理者の令和６年度事業計画について説明
伊藤会長	ふじみ野市立文化施設の運営や事業については本審議会でも意見交換する機会を継続していきたいと考える。 ・ 閉会